

「うさこちゃんのかわいい図鑑」

清水 のどか

■活動内容

①「うさこちゃんのかわいい図鑑」とは

農作業のお手伝いや、南越前町で過ごした時間の中で、「かわいい！」と感じた野菜、虫たちを「どこがかわいいのか」語るという、手書きのフリーペーパーを作成しました。作成したものは、南越前町のお店、役場、岐阜市の柳ヶ瀬商店街のお店に置かせていただきました。

このフリーペーパーを作った理由としては、「捉え方が変われば、自分の生活の見え方も変わる」ということを自分なりに示したかったからです。南越前町での経験で、自分の捉え方も変わりました。その気持ちを、私が生活を楽しむ上で大切にしている「かわいい」という言葉を使って、このタイトルにしました。

当初は、「うさこちゃんにつき」という自分の日記を書くことを考えていましたが、南越前町で過ごす時間の中で考えた空想と、それを面白がってくれる人に出会えたおかげで、自分の好きなように示したくなり、この形にしました。

②インタビュー（仮題 南越前町クエスト）

南越前町内のお店の方、NPO法人の方にインタビューを行いました。同じまちみらいチャレンジの参加者の都築さんと合同で活動しました。

■町との関わり

元地域おこし協力隊の宇野さんが運営する「Daisan」に滞在（古木地区）

地域おこし協力隊の田上さんのお宅に滞在（河野地区）

活動期間中、月に一度ほどの訪問で、計24日間

インタビューに協力していただいた方

ROSSO、ORIONBAKE、玉村屋、今庄旅籠塾（敬称略）

農作業のお手伝いで、古木地区の農家さん

■情報発信・共有

「うさこちゃんのかわいい図鑑」の配本を通しての交流（南越前町…ROSSO、ORIONBAKE、玉村屋、六助）（岐阜市…やながせ図工室、喫茶星時、やながせ倉庫）全部で70部ほど作成しました。紙が減っていることや、もらってきたよという報告が嬉しかったです。これをきっかけに南越前町の話をして、私が楽しそうなのがうれしいと言っていて、周囲の人の温かさを感じました。

■成果（変化）

私はまちみらいチャレンジに参加し、南越前町で時間を過ごして、とてもよかったです。この活動を通して、新しい人や自然と関わって、人や物事との向き合い方が少しずつ変わりました。

例えば、私は最初滞在した時にカメムシを見て、びっくりしていたのですが、「ペットみたいなもんや」（！？）という話を聞いたり、あまりにもどこにでもいるので、それが当たり前になったりするうちに、だんだんかわいく思えてきました。

小さなことですが、衣食住を変えることで、そういった自分の中の感覚の変化や、たくさんの学びが得られ、また新しい遊び方を知りました。

もっとそうしたことを知りたいので、学び、遊びにいきたいです。南越前町に三か月ほど住みたいと考えています。うさこちゃんではなく、「私が」住むうえでどうしたいか、なにがしたいか、話していけるようにいろんな人と関わって向き合っていきたいと思います。

「これでいいんだ」と、「もっとこうしたい」と思うことをたくさん受け取ったので、その気持ちを忘れず、一歩ずつやっていきたいです。

■活動に関する写真等



「うさこちゃんのかわいい図鑑」

実際の活動の様子



お気に入りの野菜写真

生活の難しさを知る

